

校内研修計画

甲州市立井尻小学校

1 学校課題

本校の児童は、明るく素直で、休み時間になると活発に外遊びをする児童が多い。学習面では、基礎的・基本的な知識や技能の定着、習得した知識や技能を活用する力に課題が見られる。また、進んで発表したり、説明したり、文章で表現したりすることに消極的な児童も見受けられる。平成26年度の「全国学力・学習状況調査」などの結果については、国語A・算数Aにおいては全国平均を上回る結果が出たが、国語Bでは平均並み、算数Bにおいては平均を下回る結果となった。既習の知識を活用しながら問題を解決する力、考えたことを自分の言葉で表現する力等が問われる記述式の問題の正答率は上がってきてはいるものの、引き続き取り組んでいかなければならない課題であることが浮き彫りとなった。

2 研究主題

思考力・判断力・表現力を育てる指導法の研究
～算数科の問題解決型の学習における言語活動の充実を通して～

3 主題設定の理由

本校では昨年度、『思考力・判断力・表現力を育てる指導法の研究』を研究テーマに、「言語活動の充実」に重点を置き、研究に取り組んできた。その結果、算数科における自力解決面で、児童が既習事項を活用しながら自分の考えをもてるようになってきたり、学習感想の内容が充実したものになってきたりと変容が見られた。しかし、学び合いの場面でのペア（グループ）学習や意見交流での児童の活動の仕組み方、教師の授業コーディネートについては、まだまだ課題が残った。

本年度は、昨年度の研究成果を生かし、本校の課題解決に向け更に研究を深めていくために、昨年度に引き続き算数科における「言語活動の充実」に焦点を当てて研究を進めていきたい。「言語活動の充実」は、児童に思考力・判断力・表現力を育むために必要な、授業改善の重要な手だてである。児童に付けたい力を見極め、その力を育成するために最適な言語活動が何かを授業コーディネートとも関連づけて明らかにしていきたい。また、学習活動を支える豊かな言語環境の整備という点についても研究を深めていきたい。一方、学び合いの基盤となるのは、学級集団づくりである。ハイパーQ-Uで児童の人間関係を把握し、K13法で学級集団の改善方針を全職員で共有しながら、「確かな学力」を支える学級づくり、集団づくりを進めていきたい。さらに家庭と連携して、家庭学習の習慣化も図っていきたい。

4 研究の具体的内容と方法

(1) 研究の具体的内容

- 「言語活動の充実」についての理論研究
 - ・先行研究等からの理論研究
- 言語環境の整備
 - ・全校の言語環境の整備
 - ・学校図書館の利用
- 授業改善、授業研究の実施、ティーチャーズノートを活用した授業づくり（授業の構造化）と授業案の作成……甲州市「確かな学力」育成プロジェクト
 - ・算数科の問題解決型の学習における授業研究を2回実施（6月と10月）
 - ・一人一実践（研究授業者以外全員・5月中旬までに実施日を決定し計画的に実施）
- 学習集団づくり（ハイパーQ-U 調査の効果的な活用）……甲州市「確かな学力」育成プロジェクト
 - ・K13法による結果分析
 - ・ハイパーQ-U 調査の結果をもとにした改善策の共有化
- 保護者との連携について……甲州市「確かな学力」育成プロジェクト

- ・「家庭学習の手引き」を利用した家庭学習（いじりの子ノート）の指導・活用推進
- ・学年に応じた学習内容の共通理解
- ・家庭学習の習慣化と学習内容を高めるための連携のあり方

(2) 研究の方法

- 全体会（理論研究，言語環境整備，いじりの子ノートの指導，授業研究，学級集団づくり，ハイパーQ-U調査の分析等）
- 個人研究（一人一実践）
- 実態調査（各種学力調査・ハイパーQ-U調査・学校アンケート調査）

年間校内研修計画

研究主任 志村多恵

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	TC
①今年度の研究，甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの関連	算数科	研究主任	全体		
②研究内容，研究計画の決定，授業の構造化，いじりの子ノートの指導，ICTの活用	算数科 授業改善				
③理論研究（Tノート・言語活動ハンドブック）	授業改善 言語活動				
④K13法による分析（1回目）	学級集団づくり				
⑤授業案検討会	算数科	雨宮由香教諭			
⑥授業づくり・授業改善について学習会 長尾雅弘先生より	授業改善	研究主任			
⑦第1回授業研究会	算数科	雨宮由香教諭	3年	6月下旬	○
⑧品田笑子先生学級づくり学習会	学級集団づくり	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト	全体		
⑨水戸部修治先生授業づくり講演会	授業改善				
⑩学級集団づくり（構成的エンカウンター・SST）について学習会 講師未定	学級集団づくり	研究主任			
⑪言語活動の充実に向けて，いじりの子ノートの取組について実践発表	言語活動 家庭学習				
⑫算数科の授業コーディネート 講師未定	算数科				
⑬授業案検討会	算数科	佐藤 薫教諭			
⑭盛山隆雄先生小学校授業研究会	授業改善	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト			
⑮第2回授業研究会	算数科	佐藤 薫教諭	5年	10月下旬	○
⑯K13法による分析（2回目）	学級集団づくり	研究主任	全体		
⑰言語活動の充実に向けた実践と成果の発表	言語活動				
⑱河村茂雄先生教育講演会	学級集団づくり	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト			
⑲鹿嶋真弓先生集団づくり講演会	学級集団づくり				
⑳今年度の成果と課題，来年度の研究の方向性	算数科 授業改善 言語活動	研究主任			
㉑研究紀要作成	学級集団づくり				
㉒研究紀要作成					

* 上記のほかに，一人一実践が入る。